OpenOLAP ユーザートレーニングマニュアル

R 1.0.1

2004 年 2 月

OpenOLAP ユーザートレーニングマニュアル

R 1.0.1

商標

本書に記載されている社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

なお、本文中には TM、® マークは明記しておりません。

OpenOLAP ユーザートレーニングマニュアル
R 1.0.1

2004年2月

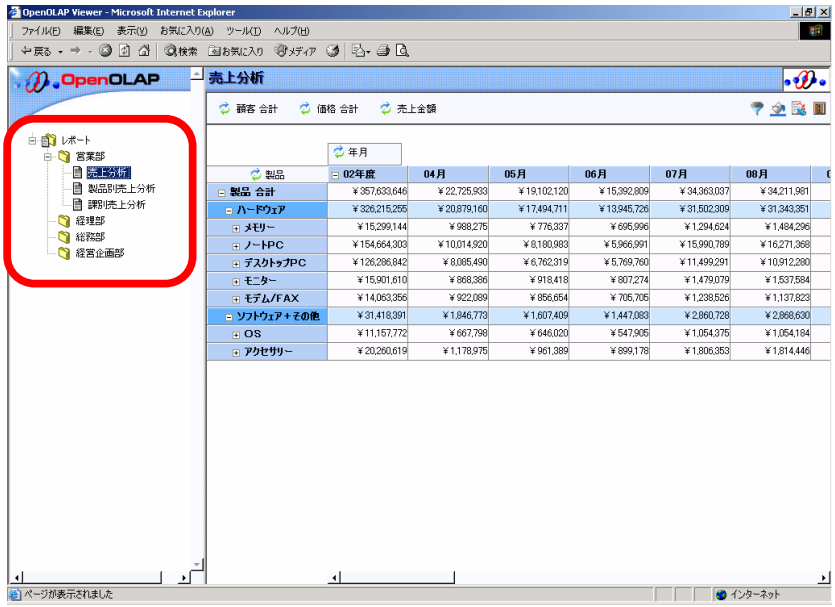
目次

第1章: OpenOLAP Viewerの概要
第2章: レポートの操作
- ディメンションの操作
- ドリル操作
- セレクタ
- データセルの色設定
- 幅、高さの調整
- エクスポート

2

第1章: OpenOLAP Viewerの概要

OpenOLAP Viewerのメニュー



4

OpenOLAP Viewerのメニュー

レポート
管理者が作成したレポートを閲覧できる。レポートは効率的に検索できるようフォルダに格納されている。
レポートに対して、ディメンション操作、ドリル操作、値の絞込み、色設定を行うことができる。

OpenOLAP Viewerの画面構成

5

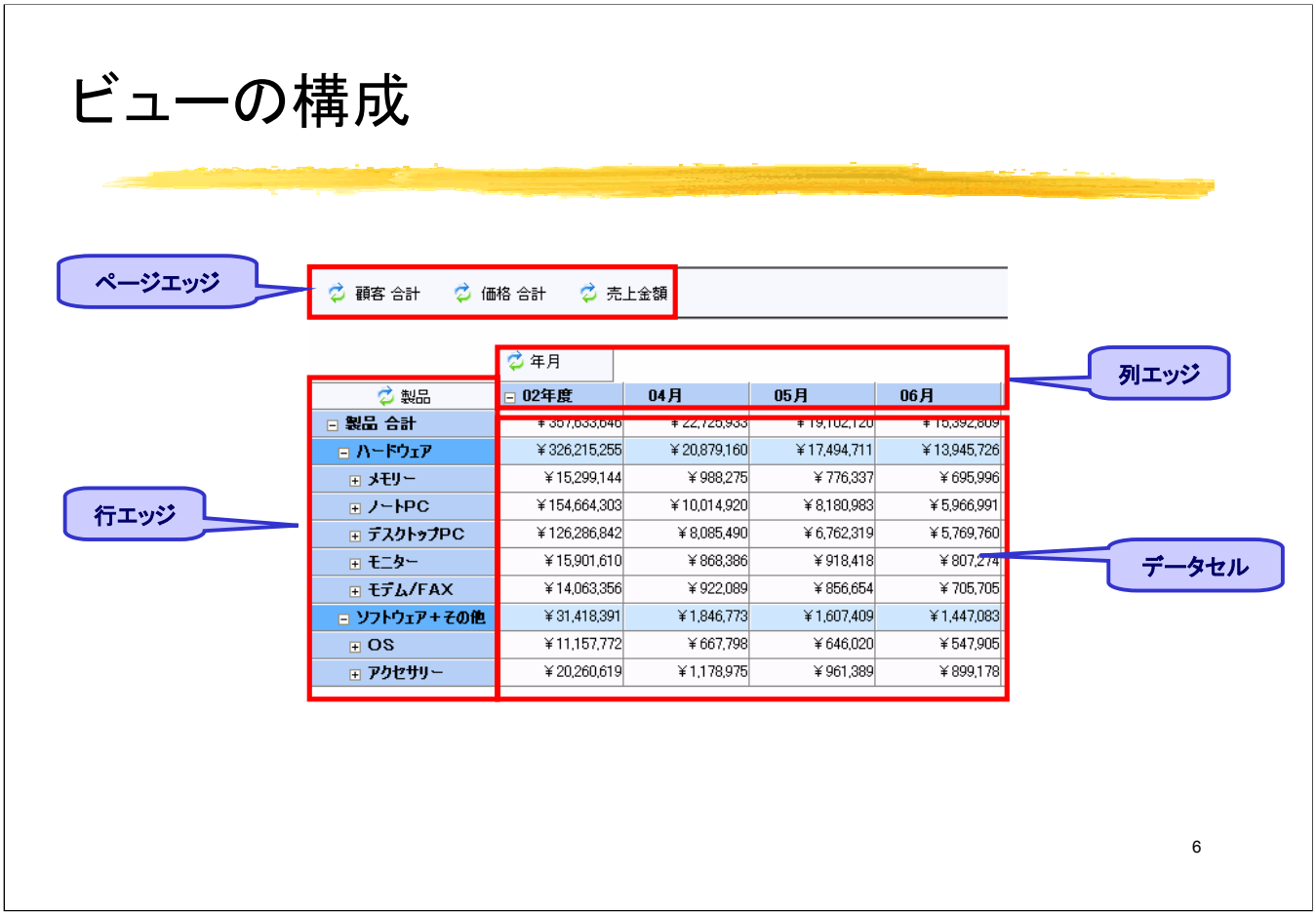
OpenOLAP Viewerの画面構成

ツリー画面
レポートや管理メニューを選択できる。

サブ画面
レポートやレポート新規作成、フォルダ管理などの画面を表示する。

ツールバー
レポート画面で表示される、レポートに対して実行できるボタン群。

ビュー
レポートを表示する。



ビューの構成

行エッジ
レポートの行データが表示されている部分。

列エッジ
レポートの列データが表示されている部分。

ページエッジ
レポートのページデータが表示されている部分。

データセル
レポートのデータが表示されている部分。

行エッジ、列エッジ、ページエッジ内に配置されているレポートの分析項目のことを「ディメンション」、ディメンションの中の値を「メンバー」、データセルに入っている数値のことを「メジャー」と呼ぶ。

第2章: レポートの操作

レポートの操作

- ディメンションの操作
- ドリル操作
- セレクタによるメンバー、値の絞込み
- データセルの色設定
- 幅、高さ調整
- エクスポート

8

レポートの操作

レポートに対して以下の操作を行うことができる。これらの操作により様々な観点からの情報分析が可能となる。

•ディメンションの操作
　ディメンションやメジャーの入れ替え、移動、スライシングを行うことができる。

•ドリル操作
　ディメンションのドリルアップ、ドリルダウンを行うことができる。

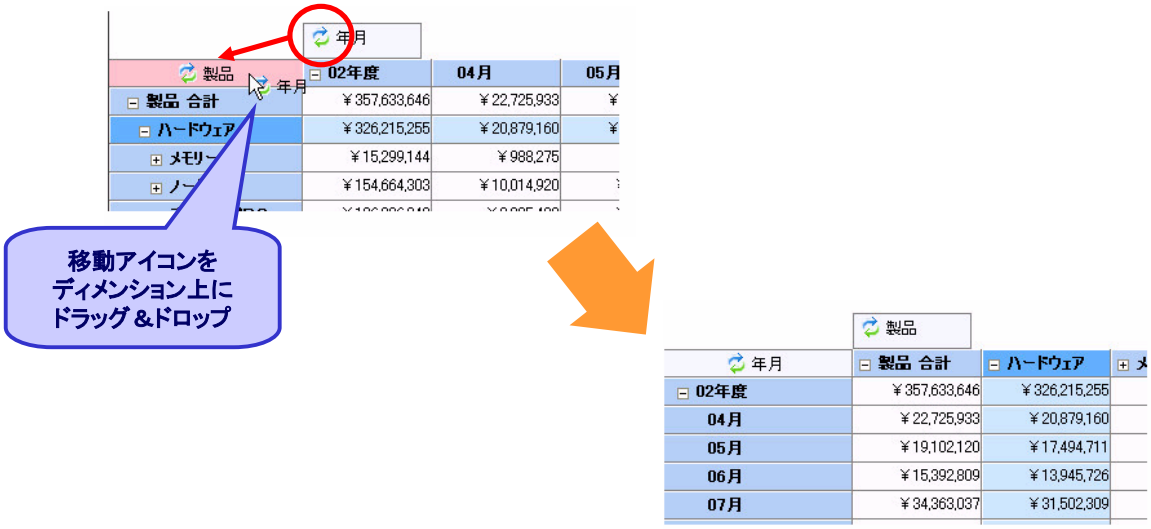
•セレクタによるメンバー、値の絞込み
　セレクタを使用して、リストからのメンバー選択、レベルでのメンバー選択、文字列にマッチするメンバー選択、メジャーの選択を行うことができる。

•データセルの色設定
　データセルに対して、背景色を指定することができる。

•幅、高さ調整
　列幅、行の高さをドラッグで調整することができる。

•エクスポート
　レポートに表示されているディメンションラベルとデータをCSV形式またはXML Spreadsheet Schema形式でエクスポートすることができる。XML Spreadsheet Schema形式の場合は色の塗りつぶし設定も出力される。

ディメンションの操作　ー 入替え ー



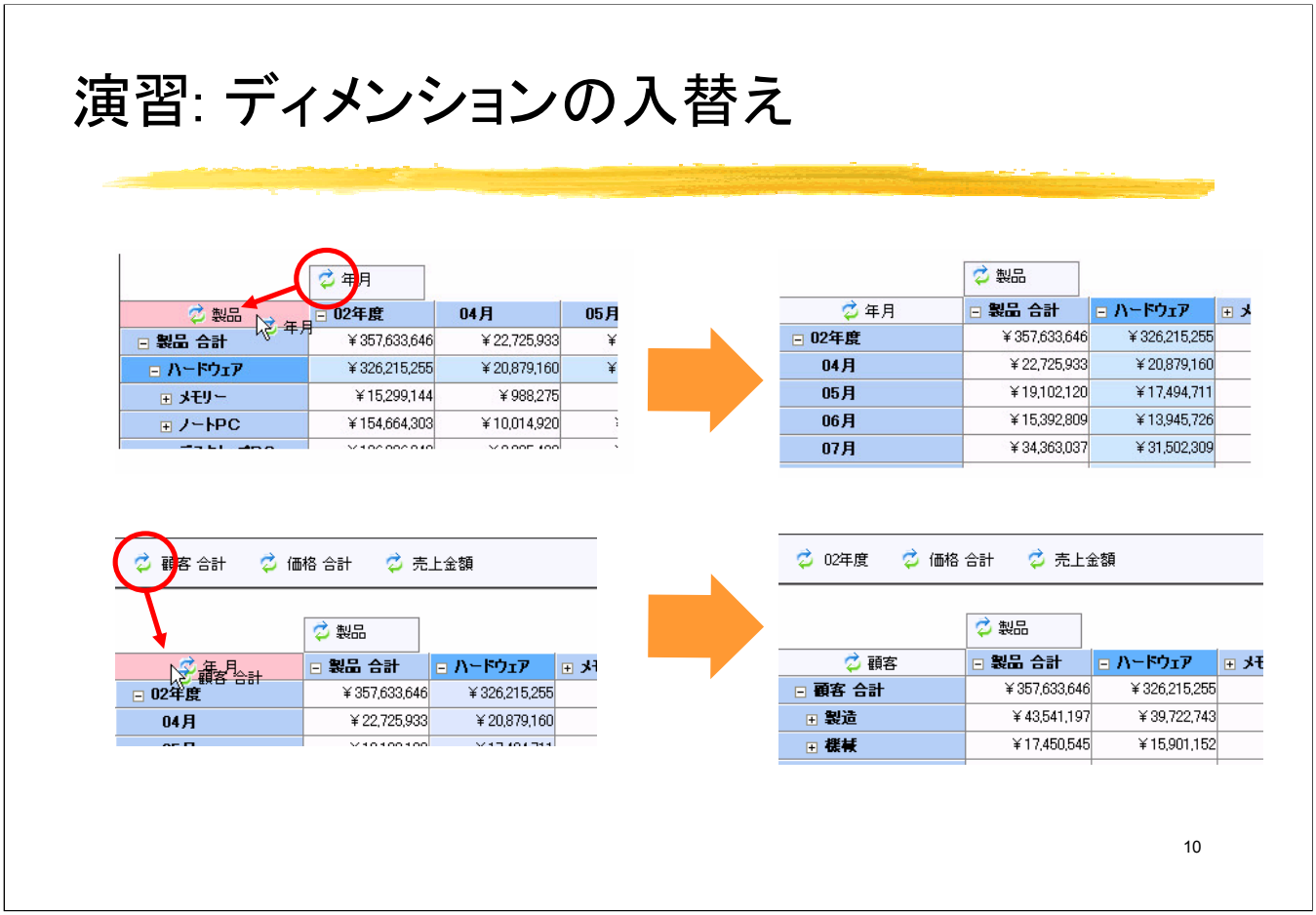
9

ディメンションの操作　ー 入替え ー

エッジ内にあるディメンションを別のエッジのディメンションと入替えることができる。

1. 入替えたいディメンションの［移動］アイコンを、入替え先のディメンションの上までドラッグする。

2. ディメンションが入替わる。

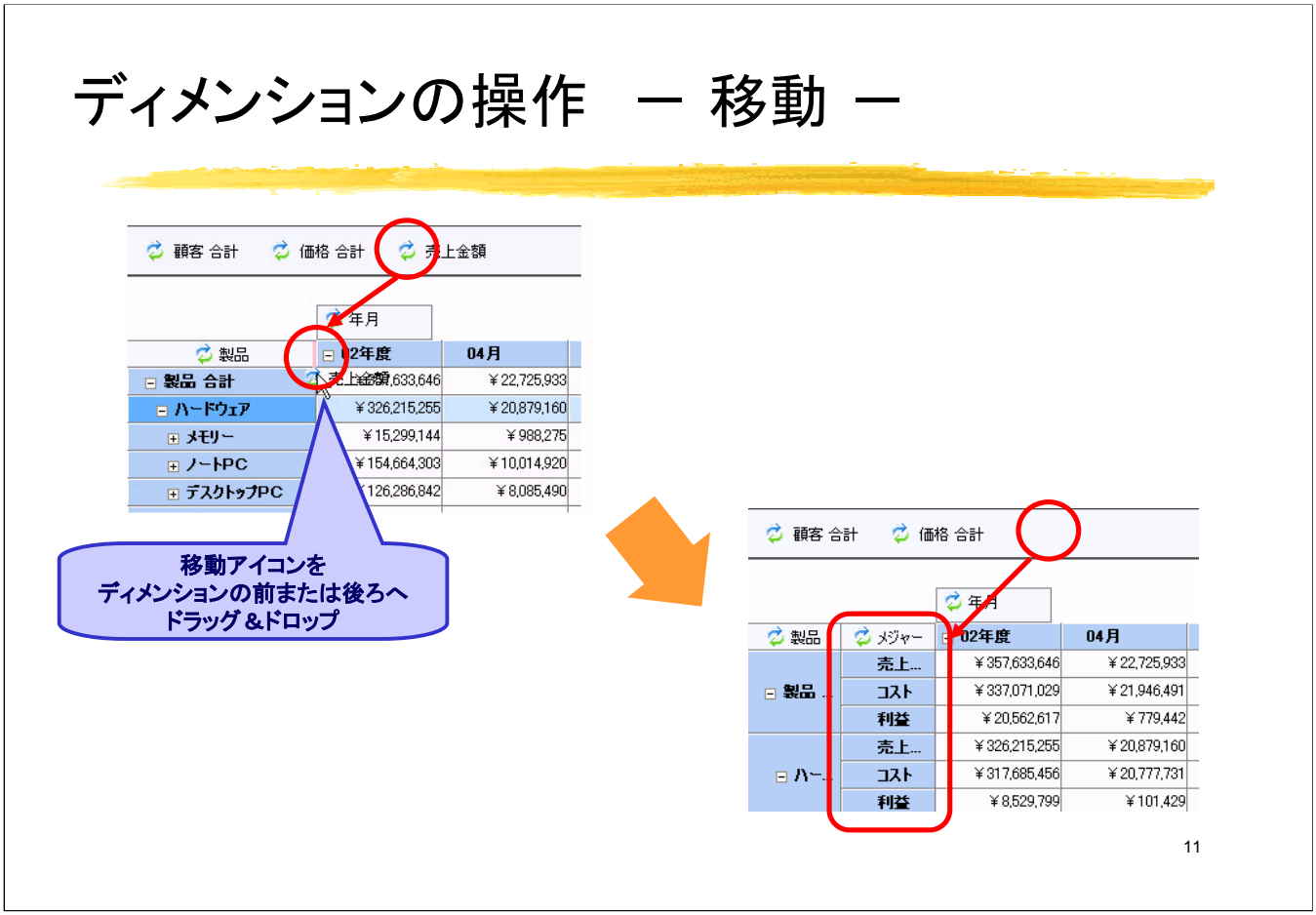


演習：ディメンションの入替え

「売上分析」レポートを選択して、行エッジと列エッジ間の入替え、ページエッジと行エッジ間の入替えを行う。

1. 列エッジの時間ディメンションの移動アイコンをドラッグして、行エッジの「製品」ディメンション上でドロップする。ディメンションが入替わったことを確認する。

2. ページエッジの「顧客」ディメンションの移動アイコンをドラッグして、行エッジの時間ディメンション上でドロップする。ディメンションが入替わったことを確認する。



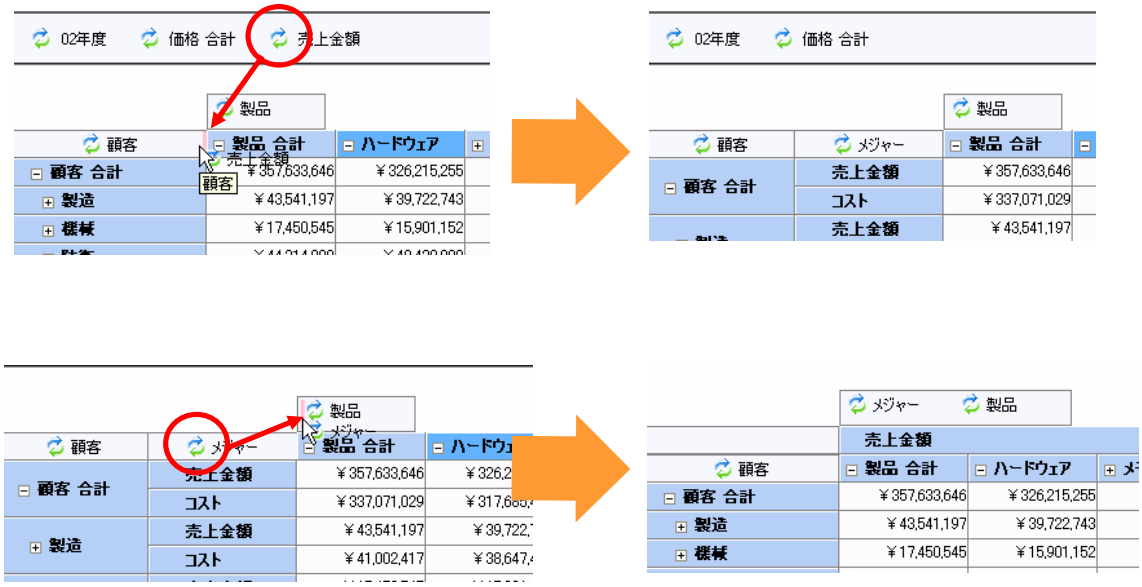
ディメンションの操作　ー 移動 ー

エッジ内にあるディメンションを別のエッジに移動することができる。

1. 移動させたいディメンションの[移動]アイコンを、移動先のエッジまでドラッグする。
   ＊移動先ディメンションの上でドロップするのではなく、移動先ディメンションの前(または後ろ)がハイライトになった状態でドロップすること。

2. ディメンションが移動する。

演習: ディメンションの移動



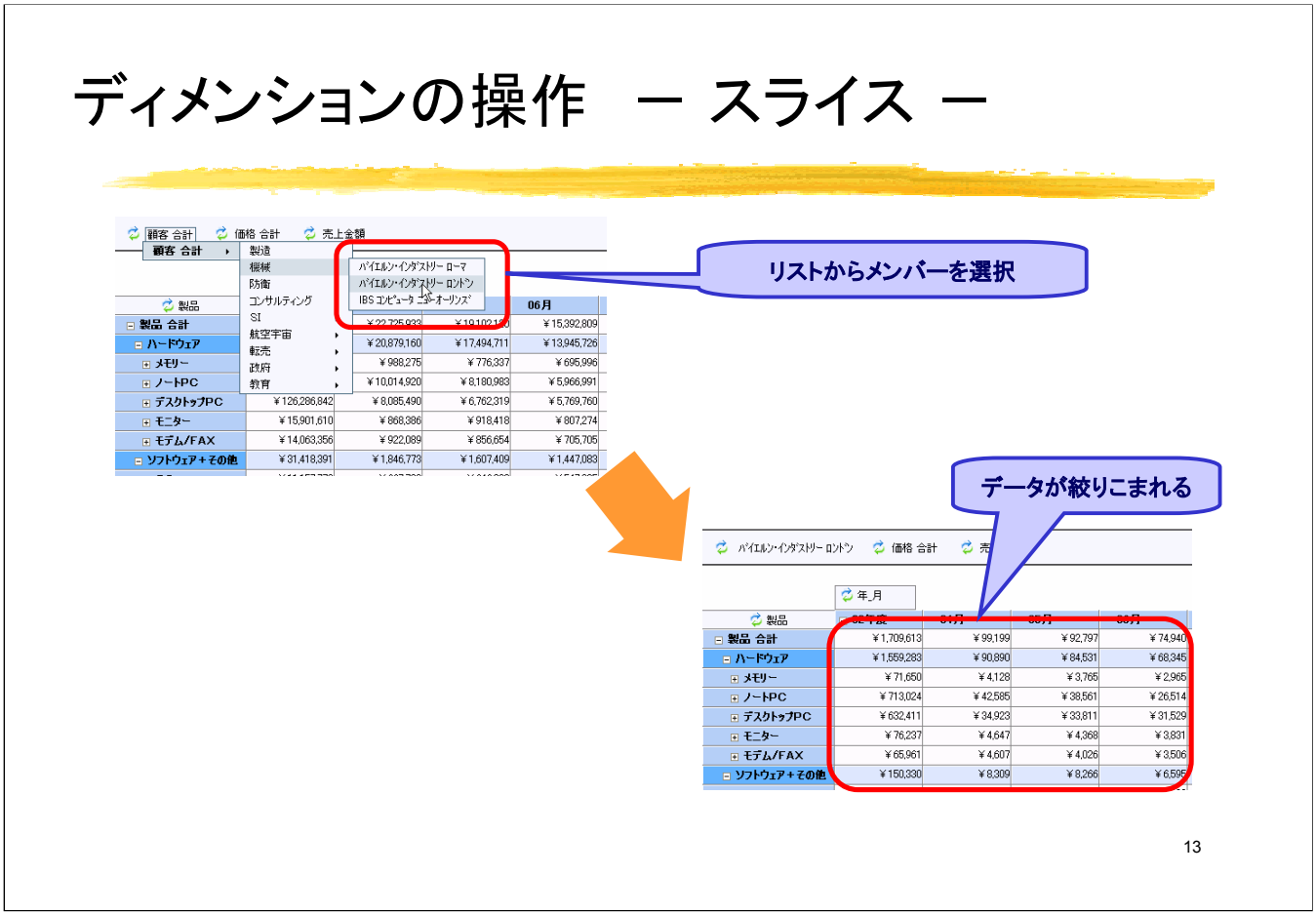
12

演習：ディメンションの移動

ページエッジと行エッジ間の移動、行エッジとページエッジ間の入れ替えを行う。

1. ページエッジのメジャーの移動アイコンをドラッグして、行エッジの「顧客」ディメンションの後ろでドロップする。ディメンションが移動したことを確認する。

2. 行エッジのメジャーの移動アイコンをドラッグして、列エッジの「製品」ディメンションの前でドロップする。ディメンションが移動したことを確認する。

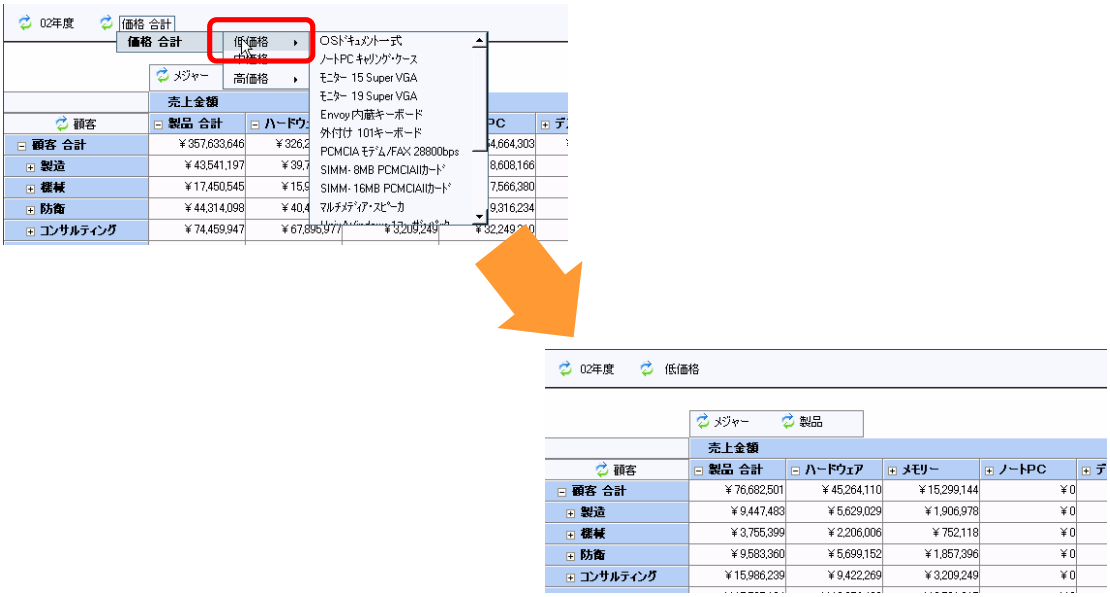


ディメンションの操作　ー スライス ー

ページエッジにあるディメンションのメンバーを変更し、レポートをスライスすることができる。

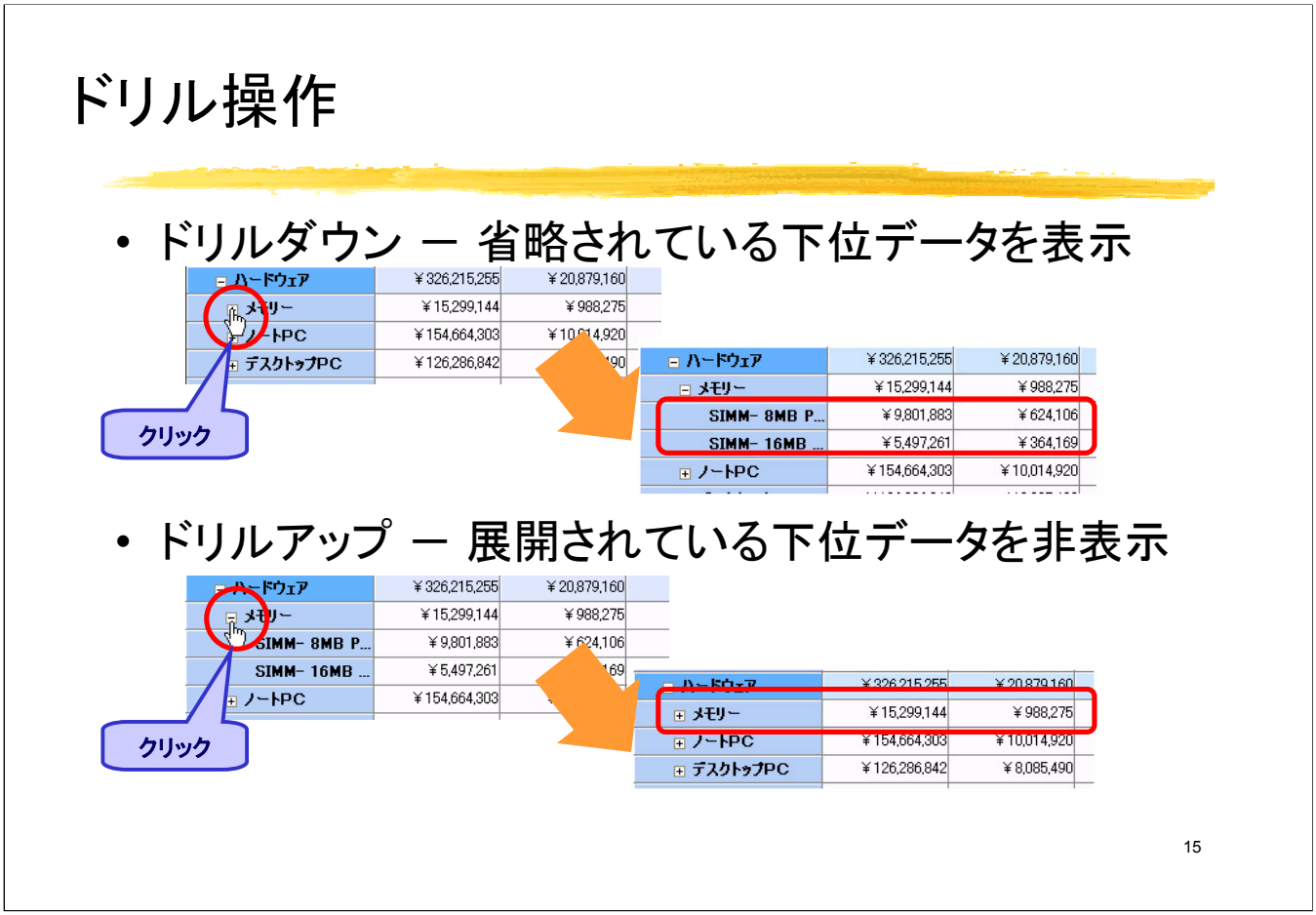
1. スライスしたいディメンションをクリックして、リストを表示する。
2. スライスしたいメンバーをクリックする。
3. クリックしたメンバーで絞り込まれたデータが表示される。

演習: ディメンションのスライス



演習：ディメンションのスライス

1. ページエッジの「価格」ディメンションをクリックしてリストを表示する。
2. リストから「低価格」をクリックする。
3. データセルが切り替わったことを確認する。
4. 同様にして、他のメンバーでも試してみる。



ドリル操作

レポートの行または列に表示されている項目に「＋」または「－」がついている場合、そのデータは
ドリル操作できる。
ドリル操作には二種類ある。

ドリルダウン：省略されている下位のデータを表示させる。
ドリルアップ：展開されている下位のデータを非表示にする。

ドリル操作をすることで、データをまとめてみたり詳細を表示したりすることができるようになる。

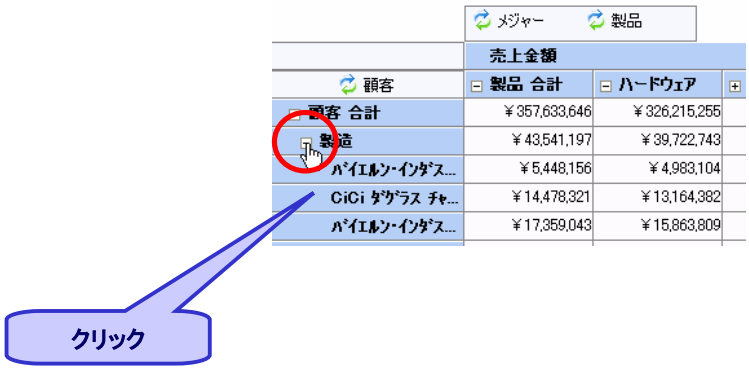
ドリルダウン

1. 詳細情報を表示したい項目の「＋」アイコンをクリックする。
2. クリックした項目が展開され、詳細情報が表示される。

ドリルアップ

1. 省略表示したい項目の「－」アイコンをクリックする。
2. クリックした項目が省略表示となる。

演習: ドリル操作



16

演習:ドリル操作

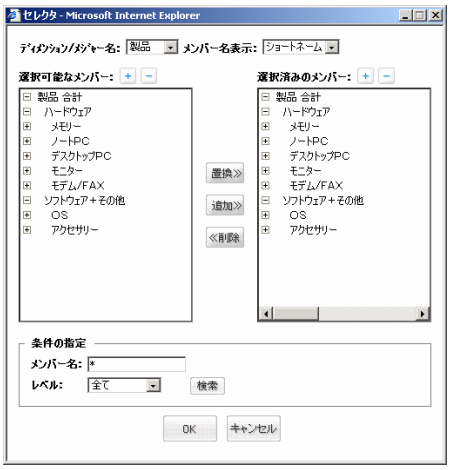
データをドリルダウン、ドリルアップする。

1. 列エッジの「製造」の「＋」アイコンをクリックする。「製造」の詳細データが表示される。
2. 「製造」の「－」アイコンをクリックする。「製造」の詳細データが非表示となる。
3. 同様に、他の項目でもドリルダウン、ドリルアップを試してみる。

セレクタ

必要なディメンションやメジャーを自由に選択しレポートに表示できる。

- ディメンション
  - リストからメンバーを選択
  - レベルでメンバーを選択
  - マッチするメンバーを選択
- メジャー
  - メジャー名による選択



17

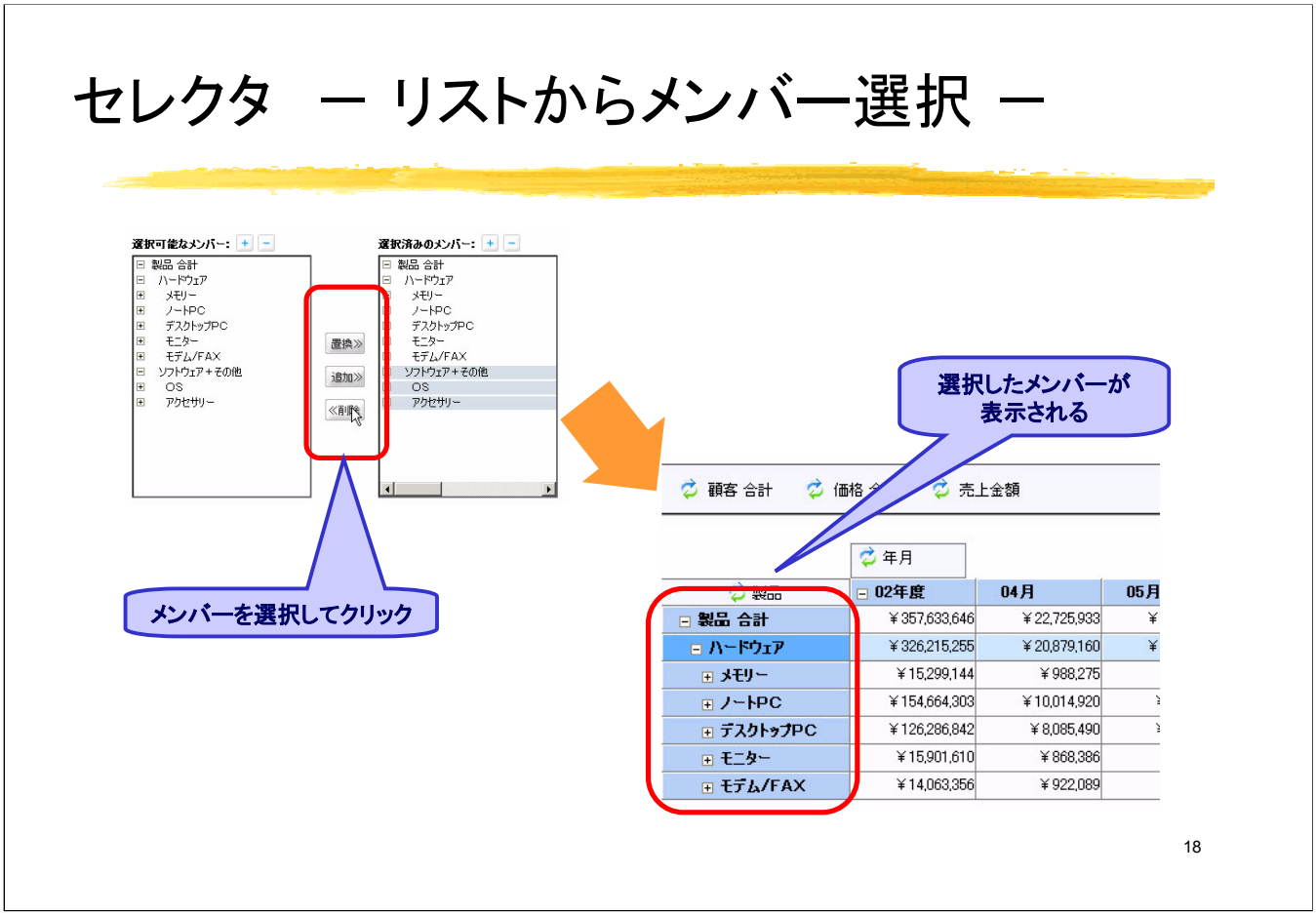
セレクタ

セレクタを利用することによって、レポートに使用されているディメンションやメジャーをユーザー側で自由に選択して、必要な項目だけをレポートに表示して分析することができる。

ディメンションの選択には次の3種類がある。

- リストからメンバーを選択
- レベルでメンバーを選択
- マッチするメンバーを選択

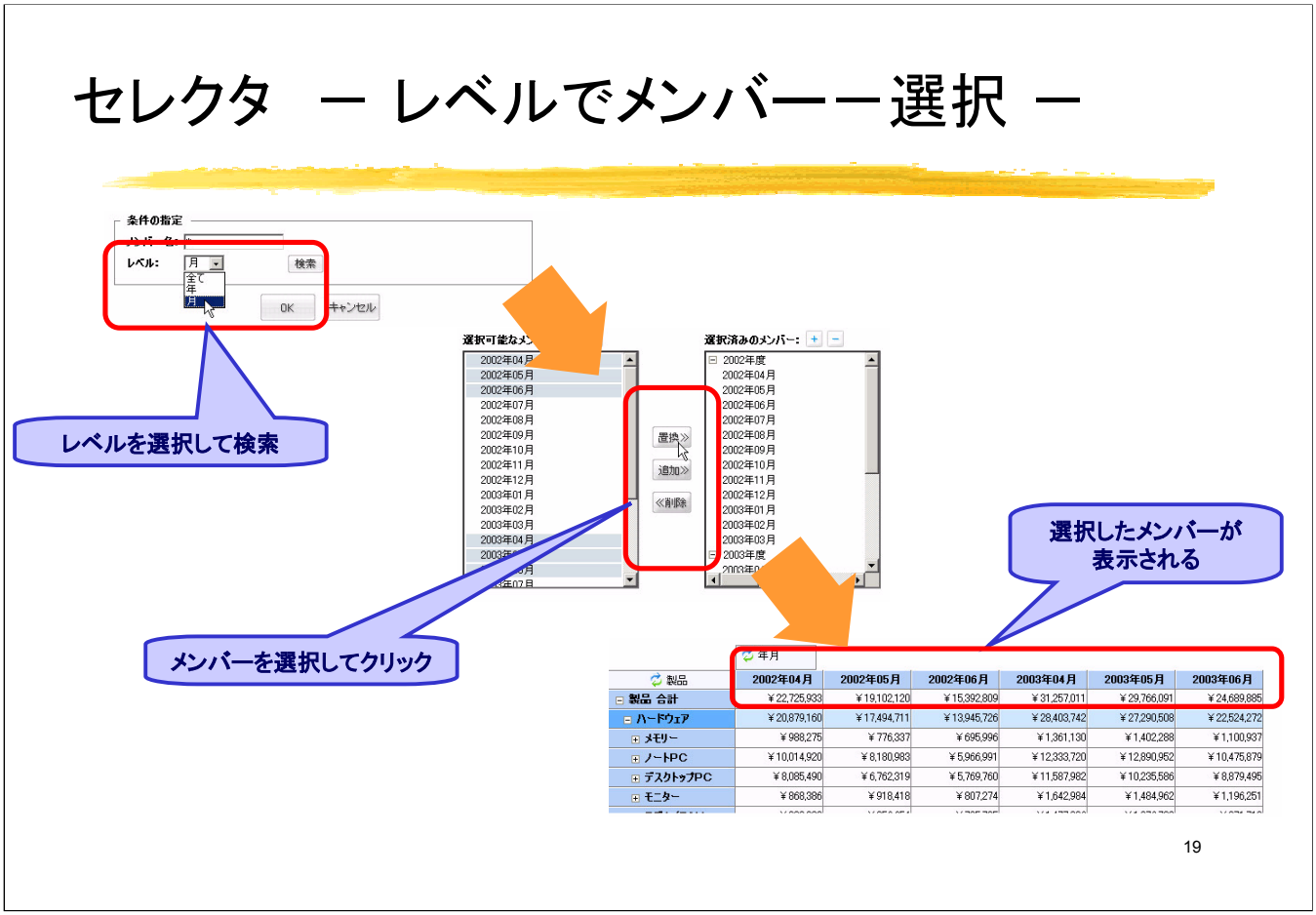
メジャーの選択は、メジャー名による選択の1種類がある。



セレクタ　ー リストからメンバー選択 ー

指定したディメンションメンバーの一覧から、レポートで必要とする項目を選択したり、選択を解除することができる。

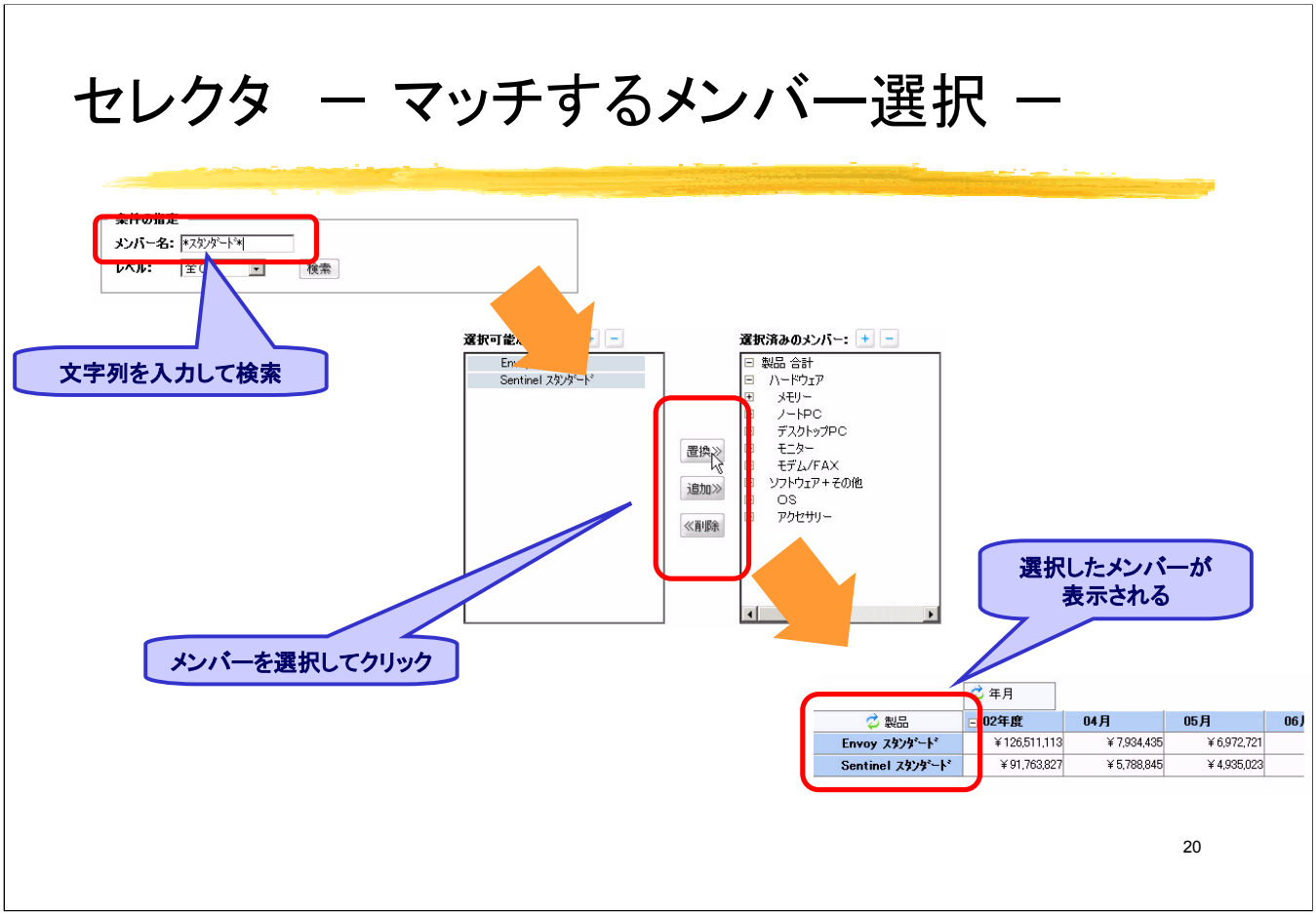
1. ツールバーの[セレクタ]ボタンをクリックする。
2. [ディメンション/メジャー名]リストボックスから選択対象とするディメンション名を選択する。
3. [メンバー名表示]リストボックスで、ディメンションメンバーをロングネームで表示するか、ショートネームで表示するかを選択する。
4. メンバーを[選択可能なメンバー]リストボックスまたは[選択済みのメンバー]から選択してアクションボタンをクリックする。
   【アクションボタン】
   置換:[選択済みのメンバー]の全メンバーを[選択可能なメンバー]で選択したメンバーに置き換える。
   追加:[選択済みのメンバー]に[選択可能なメンバー]で選択したメンバーを追加する。
   削除:[選択済みのメンバー]で選択したメンバーを削除する。
5. [OK]ボタンをクリックする。選択されたメンバーだけがレポートに適用される。



セレクタ　－ レベルでメンバー選択 －

指定したレベルに属するディメンションメンバーのみレポートに表示させる。

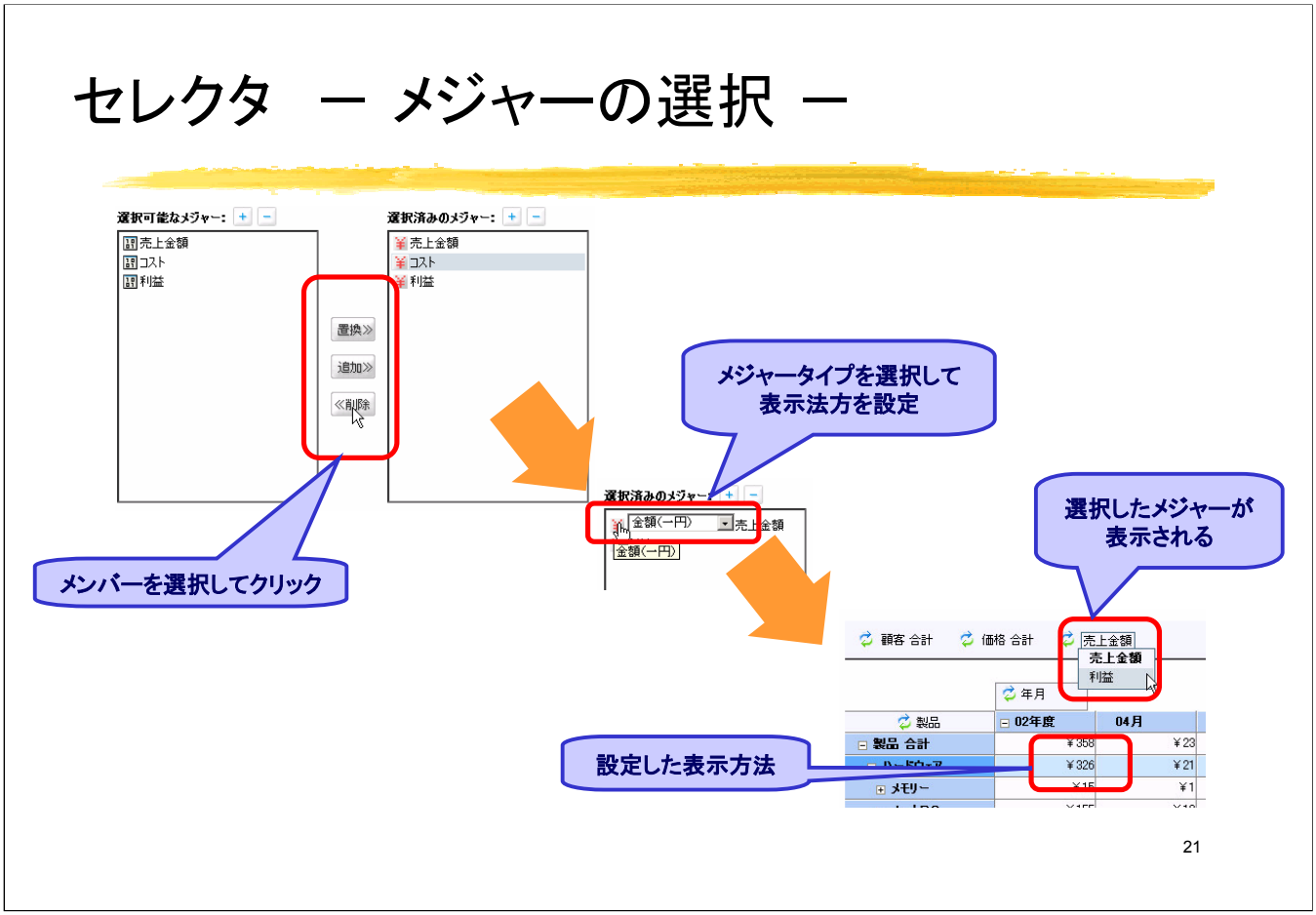
1. ツールバーの[セレクタ]ボタンをクリックする。
2. [ディメンション/メジャー名]リストボックスから選択対象とするディメンション名を選択する。
3. [メンバー名表示]リストボックスで、ディメンションメンバーをロングネームで表示するか、ショートネームで表示するかを選択する。
4. [条件の指定]エリアの[レベル]リストボックスからレポートに使用するレベルを選択して[検索]ボタンをクリックする。
5. メンバーを[選択可能なメンバー]リストボックスまたは[選択済みのメンバー]リストボックスから選択してアクションボタンをクリックする。
   【アクションボタン】
   置換:[選択済みのメンバー]の全メンバーを[選択可能なメンバー]で選択したメンバーに置き換える。
   追加:[選択済みのメンバー]に[選択可能なメンバー]で選択したメンバーを追加する。
   削除:[選択済みのメンバー]から選択したメンバーを削除する。
6. [OK]ボタンをクリックする。選択されたメンバーだけがレポートに適用される。



セレクタ　－ マッチするメンバー選択 －

指定した文字列と一致するディメンションメンバーのみレポートに表示させる。

1. ツールバーの[セレクタ]ボタンをクリックする。
2. [ディメンション/メジャー名]リストボックスから選択対象とするディメンション名を選択する。
3. [メンバー名表示]リストボックスで、ディメンションメンバーをロングネームで表示するか、ショートネームで表示するかを選択する。
4. [条件の指定]エリアの[メンバー名]ボックスに文字列を入力して、[検索]ボタンをクリックする。
   ＊ワイルドカード文字列として、以下の2種類が使用できる。
   「*」(アスタリスク) →複数文字に対応
   「_」(アンダーバー)→1文字に対応
   ＊＊以下の文字列は使用できない。
   丸囲み文字(例:①など)、「<」、「>」、「&」、「'」
5. メンバーを[選択可能なメンバー]リストボックスまたは[選択済みのメンバー]リストボックスから選択してアクションボタンをクリックする。
   【アクションボタン】
   置換:[選択済みのメンバー]の全メンバーを[選択可能なメンバー]で選択したメンバーに置き換える。
   追加:[選択済みのメンバー]に[選択可能なメンバー]で選択したメンバーを追加する。
   削除:[選択済みのメンバー]から選択したメンバーを削除する。
6. [OK]ボタンをクリックする。選択されたメンバーだけがレポートに適用される。

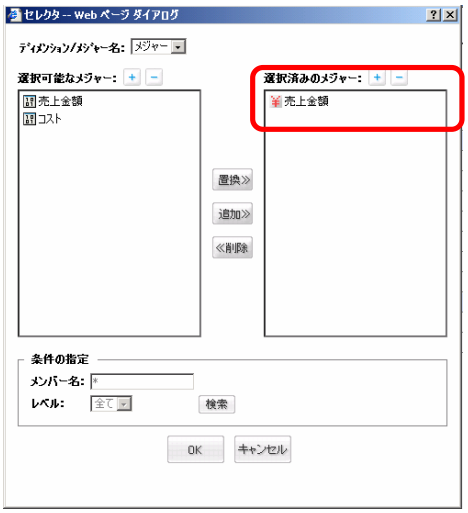


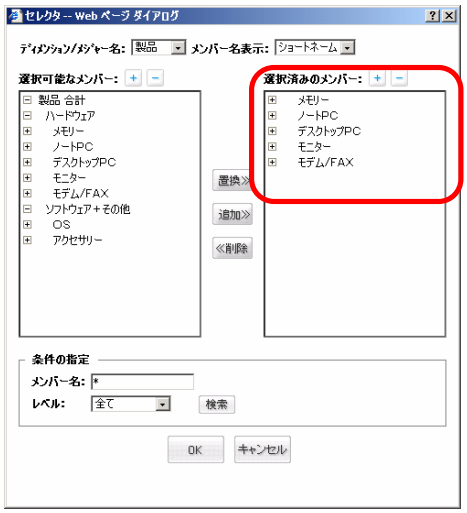
セレクタ　－ メジャーの選択 －

指定したメジャーのみレポートに表示させる。

1. ツールバーの[セレクタ]ボタンをクリックする。
2. [ディメンション/メジャー名]リストボックスから「メジャー」を選択する。
3. メジャーを[選択可能なメジャー]リストボックスまたは[選択済みのメジャー]リストボックスから選択してアクションボタンをクリックする。
   【アクションボタン】
   置換：[選択済みのメジャー]の全メンバーを[選択可能なメジャー]で選択したメジャーに置き換える。
   追加：[選択済みのメジャー]に[選択可能なメジャー]で選択したメジャーを追加する。
   削除：[選択済みのメジャー]から選択したメジャーを削除する。
4. [選択済みのメジャー]リストボックスに表示されているメジャーの[メジャータイプ]ボタンをクリックして、[メジャータイプ]リストボックスを表示し、メジャーの表示形式（金額、三桁区切り、書式設定なし、割合等）を選択する。
   ＊どの表示形式でも表示単位以下の端数は切り捨てて表示される。
5. [OK]ボタンをクリックする。選択されたメジャーだけがレポートに適用される。

演習: セレクタ





22

演習：セレクタ

「売上分析」レポートをツリーから選択しなおして、ディメンションやメジャーの絞込みを行う。

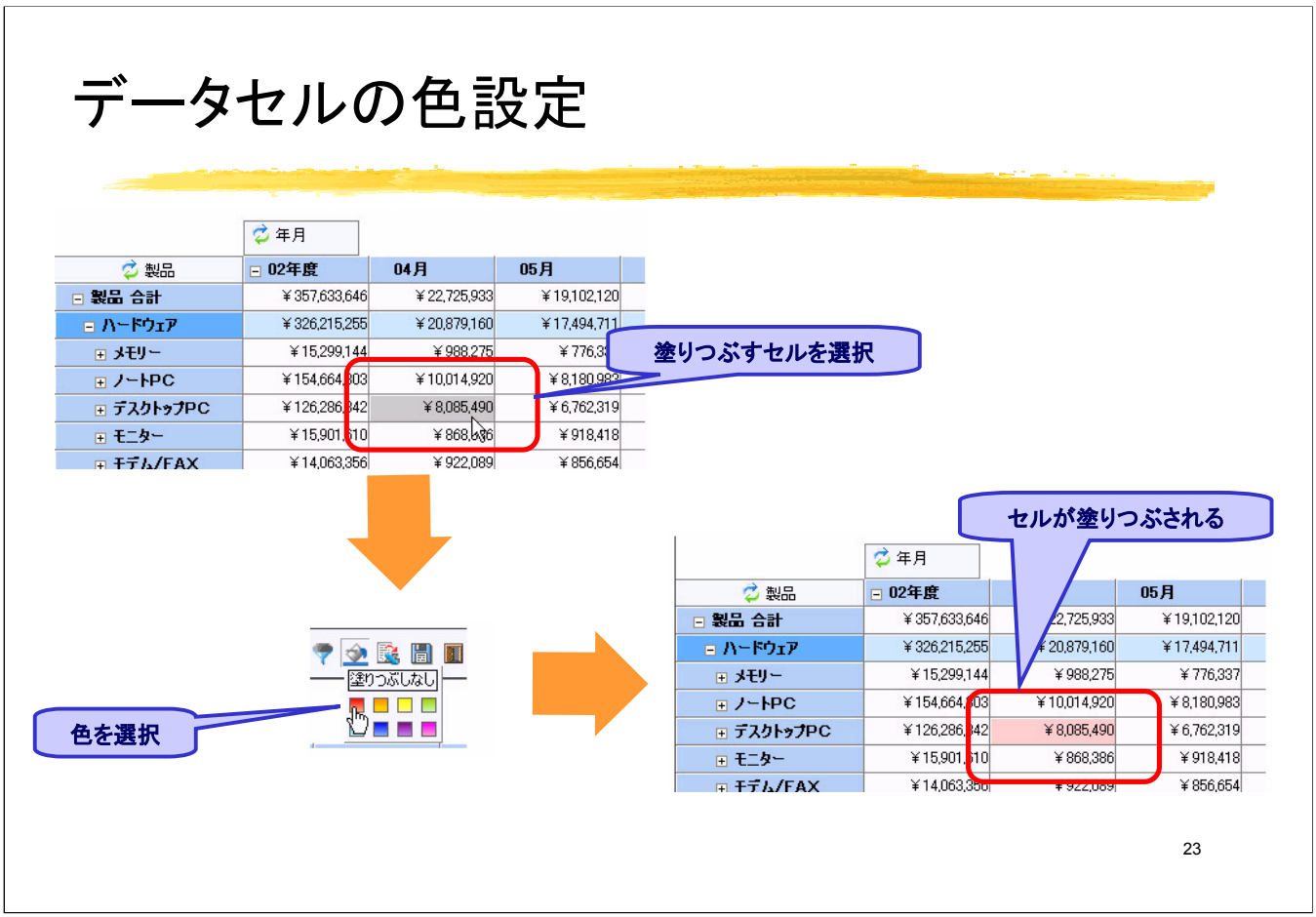
■メジャーの絞込み

1. [セレクタ]ボタンをクリックする。
2. [選択済みのメジャー]から「コスト」をクリックして、[削除]ボタンをクリックする。
3. [OK]ボタンをクリックする。
4. レポートを確認する。

■ディメンションの絞込み＆ドリル状態の変更

1. [セレクタ]ボタンをクリックする。
2. [ﾃﾞｨﾒﾝｼｮﾝ/ﾒｼﾞｬｰ名]から「製品」を選択する。
3. [選択可能なメンバー]から「メモリー」～「モデム/FAX」を選択して、[置換]ボタンをクリックする。
4. [選択済みのメンバー]の「メモリー」の「＋」をクリックして展開する。
5. [OK]ボタンをクリックする。
6. レポートを確認する。

同様に、他の項目でもセレクタを使用してみる。



データセルの色設定

注目したいデータの背景色を塗りつぶすことができる。XML Spreadsheet Schema形式でエクスポートすると、塗りつぶし設定も合わせて出力することができる。

1. 背景色を塗りつぶしたいデータセルを選択する。
2. ツールバーの[塗りつぶしの色]ボタンをクリックして、塗りつぶしたい色をクリックする。

＊行または列を選択した場合、行タイトルまたは列タイトルの色は[色]メニューで選択した色よりも濃い色で塗りつぶされる。

演習: データセルの色設定

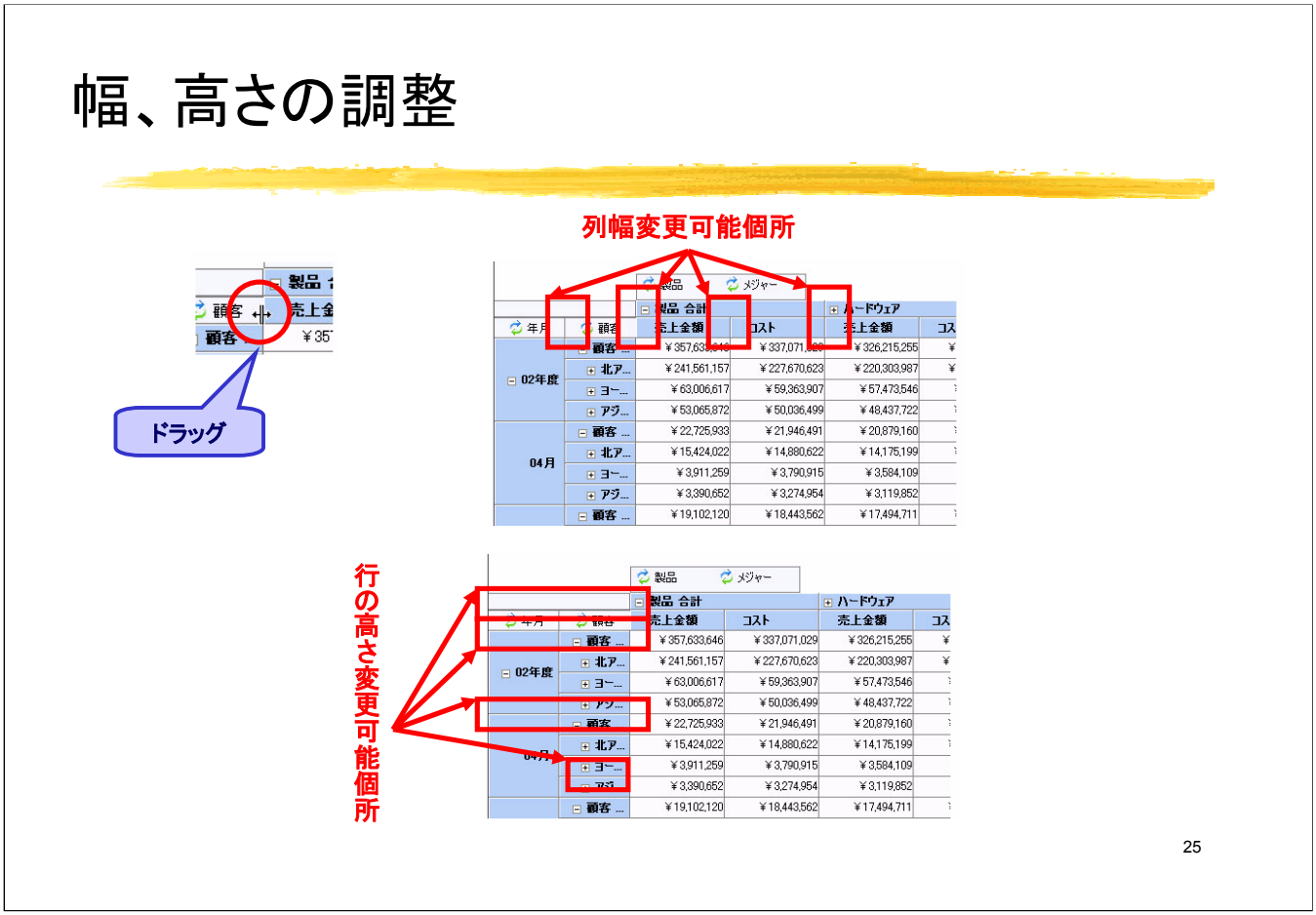
	年_月					
製品	02年度	04月	05月	06月	07月	08月
製品 合計	￥357,633,646	￥22,725,933	￥19,102,120	￥15,392,809	￥34,363,037	￥3
ハードウェア	￥326,215,255	￥20,879,160	￥17,494,711	￥13,945,726	￥31,502,309	￥3
メモリー	￥15,299,144	￥988,275	￥776,337	￥695,996	￥1,294,624	￥
ノートPC	￥154,664,303	￥10,014,920	￥8,180,983	￥5,966,991	￥15,990,789	￥1
デスクトップPC	￥126,286,842	￥8,085,490	￥6,762,319	￥5,769,760	￥11,499,291	￥1
モニター	￥15,901,610	￥868,386	￥918,418	￥807,274	￥1,479,079	￥
モデム/FAX	￥14,063,356	￥922,089	￥856,654	￥705,705	￥1,238,526	￥
ソフトウェア＋その他	￥31,418,391	￥1,846,773	￥1,607,409	￥1,447,083	￥2,860,728	￥
OS	￥11,157,772	￥667,798	￥646,020	￥547,905	￥1,054,375	￥
アクセサリー	￥20,260,619	￥1,178,975	￥961,389	￥899,178	￥1,806,353	￥

24

演習：データセルの色設定

「売上分析」レポートをツリーから選択しなおして、データセルの塗りつぶしをする。

1. 行エッジの「ハードウェア」の行タイトルをクリックして、[塗りつぶし色]ボタンをクリックする。
2. パレットから「塗りつぶしなし」を選択する。
3. 同様にして「ソフトウェア」の塗りつぶし設定をはずす。
4. 列エッジの「02年度」の列タイトルをクリックして、[塗りつぶしの色]ボタンをクリックする。
5. パレットから赤を選択する。
6. 同様にして「03年度」の塗りつぶし設定をする。
7. その他の行、列、データセルに対しても塗りつぶし設定を試してみる。



幅、高さの調整

レポートの列幅、行の高さをマウスのドラッグで調整することができる。

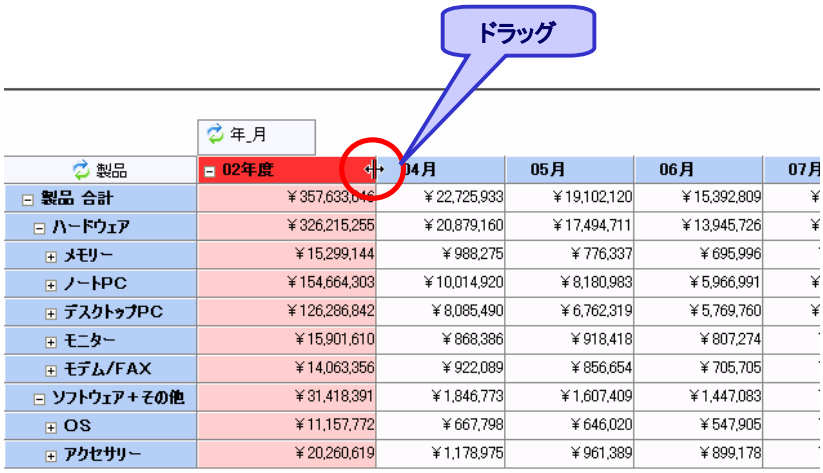
列幅の調整

1. 変更可能個所の縦線をドラッグして幅を調整する。

行の高さの調整

1. 変更可能個所の横線をドラッグして高さを調整する。

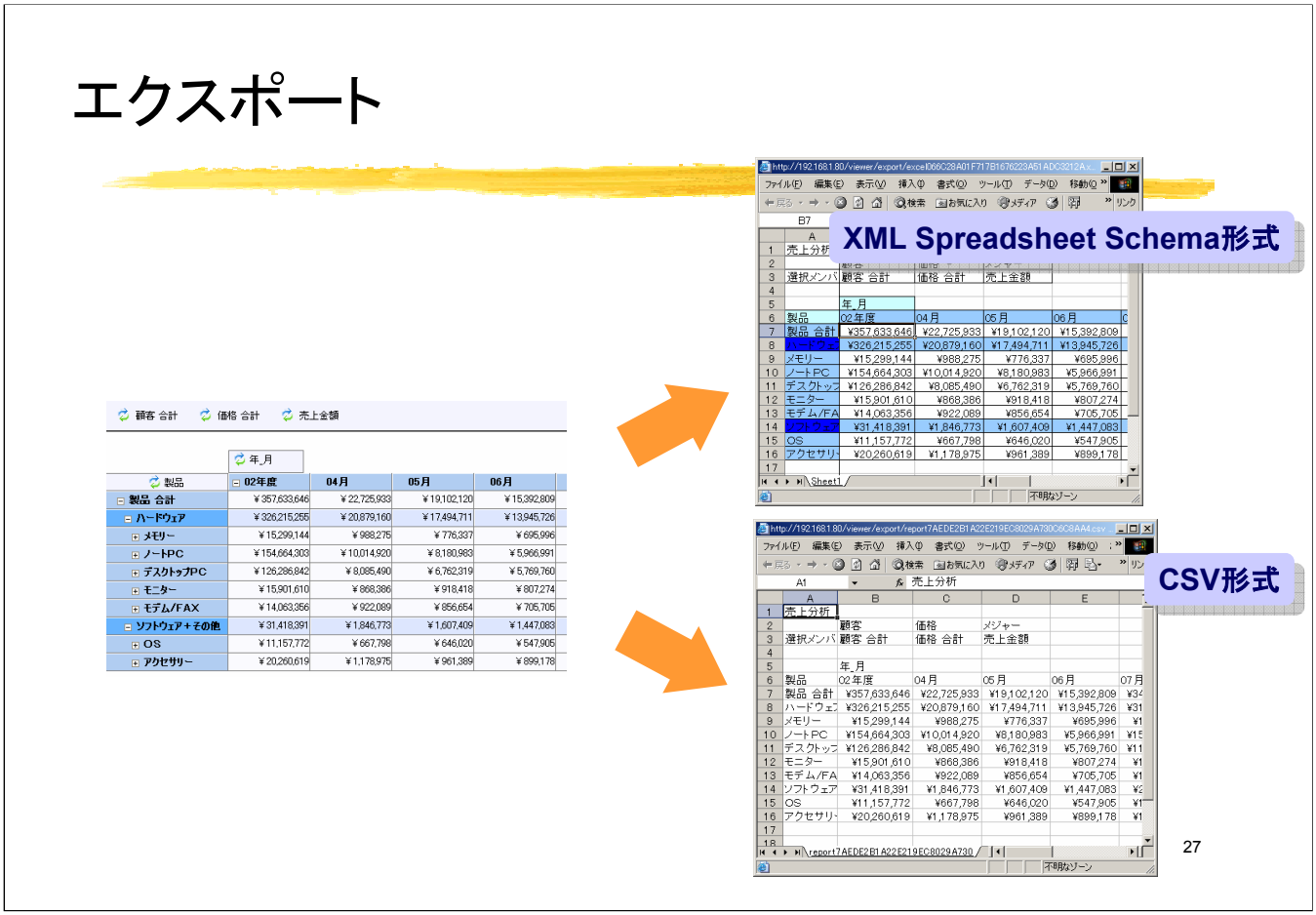
演習: 幅、高さの調整



26

演習：幅、高さの調整

変更可能個所をドラッグして、列の幅、行の高さを自由に変更する。



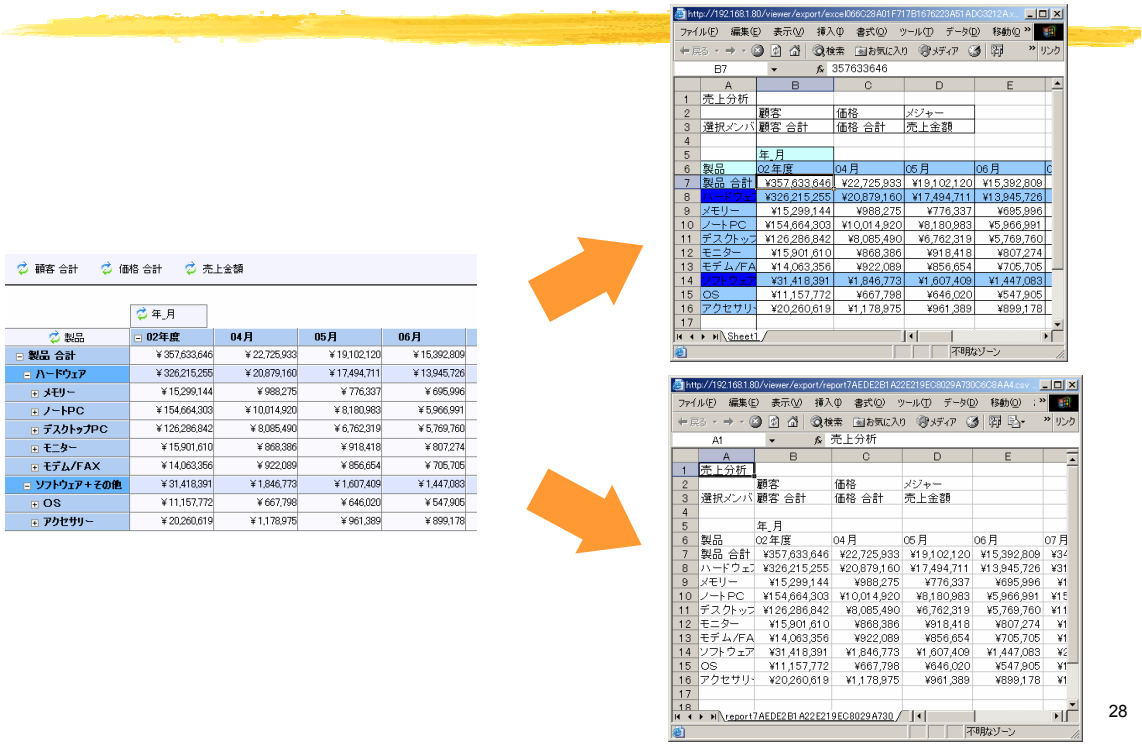
エクスポート

レポート情報（ページエッジ情報とクロステーブル）をCSV形式またはXML Spreadsheet Schema形式でエクスポートすることができる。XML Spreadsheet Schema形式では、データ情報のほか、罫線情報、塗りつぶしの色情報も合わせて出力される。

1. ツールバーの［エクスポート］ボタンをクリックする。
2. Microsoft Excelがインストールされている場合は、Microsoft Excelシートが別ウィンドウで表示される。

＊出力形式はシステム管理者が設定したものとなる。

演習: エクスポート



28

演習：エクスポート

1. ［エクスポート］ボタンをクリックする。
2. 出力されたファイルを確認する。